

福岡医発第 1633 号 (地)
平成 16 年 12 月 10 日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会 長 竹 嶋 康 弘



インフルエンザワクチンの適正な供給へのご協力について

師走の候 貴職益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

標記の件につきまして、福岡医発第 988 号 (地) (平成 16 年 8 月 27 日付) にて、すでにお願いいたしておりますが、今般、福岡県保健福祉部薬務課より、別添のとおり、今年度インフルエンザワクチンの接種にあたって、一部の医療機関では追加の受注ができない状況にあるため、適正な供給を求める協力方依頼がありました。

本会としても、在庫ワクチンを過剰に抱え、接種シーズン終了後に商慣習として多量の返品がなされることは、適正な供給に反することと考えます。

つきましては、貴職におかれましても本件についてご了知いただき、貴会会員への周知の徹底方よろしくご高配の程お願い申し上げます。

小郡三井医師会より

担当理事 友清 明

16 薬 第 2769 号

平成 16 年 12 月 6 日

社団法人 福岡県医師会 会長 殿

福岡県保健福祉部薬務課長

インフルエンザワクチンの適正な供給への御協力について

インフルエンザワクチンの安定供給については、平成 16 年 9 月 3 日付け 16 健第 2063 号、16 薬第 1505 号をもって既にお願ひしているところですが、今年度のインフルエンザワクチンの接種にあたって、一部の医療機関では追加の受注ができない状況である旨の連絡を受けております。

今年度のインフルエンザワクチンの接種にあたっては、全体的には接種希望者には十分対応できる量が確保されている状況であるにもかかわらず、シーズン後には返品がおこる可能性も考えられます。このため、予約としてワクチンを確保している医療機関にあっては、予測される接種者数と未納入分の予約量を勘案し、余剰であると見込まれるワクチンについては 12 月中に予約解除いただきたいと考えているところです。また、予約解除では対応が難しい状況になった場合は医療機関在庫の余剰分の融通も含めて検討いただきたいと考えています。

つきましては、上記の趣旨を十分に御理解いただき、インフルエンザワクチンの適正な供給について、貴団体の協力をお願いすると共に、貴会員に対して依頼していただきますようお願いいたします。

なお、シーズン終盤に多量の返品がなされた場合は、厚生労働省から医療機関名を公表される可能性もありますので、十分にご留意願います。